

令和7年度 第8回「白山市ミライ会議」会議概要

※会話の順番を入れ替えたりまとめたりしています。
※制度などの説明は、会議開催時点のものです。

日 時:令和7年7月23日(水) 19:00~

場 所:蝶屋コミュニティセンター

参加者:9名



◆ 蝶屋まちづくり協議会は防災・防犯、環境に力を入れ、先進的な活動をしていると自負しています

(参加者)

あくまで個人的な思いですが、蝶屋地区のコミュニティは、防災・防犯、環境に力を入れて活動しており、市内でも先進的ではないかと自負しています。

防災については、13町会それぞれが組織を立ち上げ、10月末には地区全体で取り組みを行う予定です。毎年防災委員会の方々が非常に工夫を凝らしてくださっていることは本当にありがとうございます。

田村市長も防災に力を入れていることを強く発信していますが、やはり地域防災は大事だと思います。防災は日頃の備えがなければ、いざというとき対応が難しいので、そういう意味で取り組みは今後も力を入れていかなければならぬと思っています。これに関しては、3年前から避難訓練を毎年やっています。皆さん一生懸命、真剣に取り組んでいます。

蝶屋地区全体として、非常に住民同士の連携が取れていますし、いろいろな団体がまちづくり協議会に入っていますので連携を図ることができます。お年寄りの方々が子どもたちの見守り活動をしていますが、20年たてば当時の子どもたちは自分が子どもを持つ年代になり、自分が見守ってもらっていた頃を思い出し、継いでいくといいと思っています。ただ、後継者養成の必要性を感じています。

見守りに関する連携として、子どもの通学路に関して、まちづくりの各部会から通学路の安全について話

が出てています。毎年、まちづくり協議会と育成会とで協力しながら、市へ要望書を提出していますので、対応をよろしくお願ひします。

◆ 防災士、若い方、女性に防災委員になっていただき、地区の自主防災組織を結成しました

(参加者)

蝶屋地区は自主防災組織を結成しました。特に防災士になった方、若い方、女性を含めて、防災委員を各町から2、3名選出いただき、先日開催した研修会は13名の参加がありました。今後も防災委員を通して、若い方にお声掛けしながら、防災活動を進めていきたいと思っています。

白山市内にいくつも自主防災組織があると聞いています。昨年、蝶屋地区は会を結成しましたが、市への登録などが必要ですか。

(総務部長)

市から、地区の自主防災組織を作っていただくようお願ひしています。各町内会の組織は今まで皆さんも出ていたかと思いますが、各地区での活動もお願ひしたいと思います。現在、白山市内で13の自主防災組織があります。

蝶屋地区も、すでに活動されているので登録自体は問題ありませんので、担当の危機管理課にお問い合わせいただき、書類などの手続きをしていただければと思います。

(市長)

若い方もお忙しいですが、お祭りがある地区では、集まって練習する中から消防分団員になっているところがありました。何かしら若い方が集うような会があるといろいろと誘いやさしいと思います。

◆ 地区をまたいで美川3地区で連携しながら、課題解決に向けて動き出しました

(参加者)

美川、蝶屋、湊の、旧美川町3地区では、商工会が中心になり、各地区の課題をまちづくり協議会の中で話し合っています。その中で、蝶屋地区はまちづくりに係る委員会を発足したいと考えています。商工会と連携しながら、3地区全体で子どもたちが住みやすい地域を作ることができればと思いますのでご理解をよろしくお願ひします。

もう1つ、「白山市ミライ会議」の名称についてはなぜカタカナ表記なのでしょうか。白山市の未来を語るのであれば漢字のほうがわかりやすく、意識しやすいと思います。これは個人的な意見ですが、ぜひ漢字にしていただいて、ポップ調の字体で柔らかい雰囲気で白山市の未来を考える形でやっていただければと思います。

◆ 地元の協力は惜しまないので、行政でもアプリコットパークを積極的に利活用する工夫をお願いします

(市長)

3地区それぞれ取り組みをされているかと思いますが、蝶屋地区ではどんなことが議題に挙がっていますか。

(参加者)

アプリコットパークがもっと活用できる公園になればと話しています。修繕するには人手もお金もかかると思いますが、交通アクセスがよく、桜も植えられているので、市民の憩いの場になればと重点的に考えています。商工会の地域活性化委員会でいくつか青写真のようなものがあり、商工会とも連携して、地区の希望も含めたうえで何かの形にしていけたらと思います。

(参加者)

私は昨年から環境美化部会に所属しています。アプリコットパーク園内の通路に芝桜を植え、シルバー人材センターに草刈りをしていただいたところが、今年の春ぐらいに満開になりました。溢れるほど近所の人たちが来て、芝生でサッカーやキャッチボールをしたり、景色を見たりなど、きれいにしていればこれだけの人が来るのだと思いました。草刈りでも、除草剤噴霧でも、1人にお願いするのではなく、部会のメンバーで一齊にするのがいいのではないかと思います。

(参加者)

まちづくり協議会の環境部会では、アプリコットパークの美化に取り組んできましたが、温暖化によって水やりが非常に大変になっています。まちづくり協議会の活動で花を植え、お世話をしていますが、水やりの設備などは協議会の予算内で簡単にできるようなものではありません。

(参加者)

美川町時代に広い面積を買収して作ったアプリコットパークは地区の大きな拠点です。整備した以上、行政にはそれを利活用する工夫に力を入れてもらいたいです。

ボランティアを含め、我々地元は協力を惜しません。公園を作りました、終わりました、草が生えます、刈ってください、これだけではせっかく整備した公園がもったいないです。1つの具体例としては、雨が降ったときのための東屋を作ることで、保育園や小学校などの遠足などの候補になるのではないかと思います。

公園をうまく活用する工夫を地元でも考えて、環境部会で花の苗を植えるなどの美化活動を一生懸命やっています。その次の展望は、たくさん的人が地域外からも活用できることを目指しているので、地元と行政が一体になって、アプリコットパークの利活用をしていく努力をすべきだと強く思っています。

(市長)

アプリコットパークの件は議会でも質問が出ていました。桜の木もあって、切り方の問題があつて報道にも出ていました。大事な公園だと思いますし、作ったものを利活用することは大切です。

現在、美川3地区で連携しながら地区でも活用策を検討しているということですので、市も地域と一緒に何かいい方法はないか考えていきたいと思います。

◆ 美川3地区を範囲とした美川青年団に、今後地区の夏祭りなどに関わってもらう予定です

(市長)

各地区を回りながら、若い世代にどうつないでいくかについて皆さん苦労されていると感じています。蝶屋地区で工夫していることはありますか。

(参加者)

今週土曜の夜に毎年開催している蝶屋地区の夏祭りがあります。今年から美川青年団が加わって、コミュニケーションをとっていると考えています。以前は、美川地区だけの青年団だったものが、3地区の若い子たちがどこの校下でも入れる美川青年団となり、おかげ祭りのラッパ衆などの活動ができるようになりました。そこで、3地区の各コミュニティセンターにも出入りしてもらえるよう、話をしました。

(参加者)

美川はおかげ祭りがありますが、蝶屋地区は各在所で神社や祭り、盆踊りがあり、まとまっての祭礼のような祭りはありません。ゆくゆくは青年団がそれぞれの地区や在所の集まりに顔を出してくれるようになれば、いろいろな交流ができるかと思います。

(市長)

美川は3地区が連携していろいろ考えたりしていて、いいですね。

◆ 高齢者のひとり暮らしや夫婦のみの世帯がさらに増えることや、家の管理などが行き届かなくなるかもしれないことが気にかかっています

(参加者)

コミュニティ組織の活動に携わるようになりましたが、今日の参加者も60代以上ですし、今後どのように世代をつないでいくかが大きな課題だと思います。

シルバー人材センターでは、お年寄りからの電灯の交換や木の剪定の依頼が多くなっています。若者たちは実家を離れて家を建て、核家族化が進んでおり、今依頼がある親世代のあと、子世代に代わると、家や庭木が放置状態になるのではないかと不安があります。

今後ひとり暮らしや高齢者夫婦の世帯がさらに増えてくるだろうことが常に気にかかっていますし、シルバー人材センターの人材も不足しています。

◆ 美川のまちなかの人が減っていることに悔しい思いですが、今後まちづくりの勉強をしていきたいです

(参加者)

人口減少の激しい地区に比べ、こうしてコミュニティ活動ができている地区は幸せなのだと思います。人がいて、人が来て、初めてまちづくりができるということを少しずつ考えていこうと思っています。白山ろくを走るバスでは、普段からお年寄りが運転手へ感謝の気持ちを表すのに手を合わせてくれます。

鶴来は平日でも観光客が電車から人が降ります。外国人観光客が団体で降りてくることもあります。レンタサイクルでキャニオンロードを通って、瀬女まで一日で往復できる距離です。例えば、美川駅から自転車でアプリコットパークへ行って、そこで何かできたり、見学できたりするといいのではと思います。鶴来でそういう人たちが増えたように実感すると、美川のまちなかでは人がだんだん減っていて悔しい思いがありますが、今後まちづくりの勉強をしていきたいと思います。

(市長)

白山ろくは高齢化と人口減少が著しく、北陸鉄道の路線バスの便も減っているので、何かいい方法がないか考えたいと思っています。白山市は市域が広い分、地域性がそれぞれあるということをご理解いただければと思います。急激に人口が減っている地区があり、限界集落が出てくると思います。そんな中でも若い方にどんどん入っていただいて、少しでも活性化できるようにしていま

す。

自転車の貸し出しは、鶴来支所内にある市観光連盟と、鶴来駅で民間事業者が行っています。電動アシスト付き自転車はスピードも出しやすいので道の駅瀬女まで行くことができます。キャニオンロードの自転車道をたくさんの方に利用してもらいたいとの思いから、民間事業者や議会の議員の皆さん方が一生懸命働きかけていらっしゃいます。

5月18日は、美川でおかえり祭りが開催されましたが、市ではジオライドハクサンというサイクリングイベントを開催しました。松任総合運動公園を出発し、トレンパーク白山、松任海浜公園と海沿いを走り、手取公園右岸園地の堤防沿いから鶴来の加賀一の宮駅、最後は松任総合運動公園まで戻る50kmのハーフコースを、途中までですが電動アシスト付き自転車で走りました。100kmのロングコースと合わせて700人ほどの参加があり、民間でこの事業を進めています。

人が来て、人がいてこそのまちづくりとお話をいただきましたが、白山市内では大学生が活躍している町内会や地区が増えています。商店街の活性化や、SDGs事業への参画、トレンパーク白山で子どもたちに紙芝居や読み聞かせなどをするなど、各方面で地域を盛り上げていただいています。美川は手取川、小舞子海岸など水をキーワードに何かできないか話を進めています。

関係人口を増やす取り組みも必要だと思います。美川には駅があるのが強みだと思いますので、これを活かせないかと考えています。インバウンドで外国人観光客が美川の宿泊施設に泊まり、地元の飲食店のほか、IR線に乗って松任駅周辺へも食事に出かけているようです。

◆ 蝶屋地区では15年前から小学生が桜に関する取り組みをしています

(市長)

蝶屋の桜は素晴らしい資源ですが、子どもたちは何か学習したり、発表したり、学校との連携などもしているのですか。

(参加者)

蝶屋桜探検隊というチームがあります。全面的に蝶屋小学校と連携し、3学期の終わりに結団式をして、その年の隊員を募集して進める形でやっています。15年間子ども達が桜の花が咲いた日や満開になった日の記録を取っていて、パネルに貼って文化祭で展示しています。また、桜の観察のために鶴来の樹木公園へ行き、感想などを文集にして毎年出しています。

(市長)

毎年、報道されていますね。ご存じかと思いますが、小学校・中学校ではジオパーク学習を総合的な活動時間に取り入れて、1年に1回発表を行っています。桜もそうですが、ジオパークについて各校で学び、子どもたちの発表の場を教育委員会が設けています。また、地区の文化祭で、子どもたちが調べたことを地域の人たちへ文章だけでなく口頭で発表しているところもあります。そういう場に大学生が加わるとさらにおもしろいかもしれません。

◆ 大学生に協力いただいた通学合宿が途絶えてしまい残念です

(参加者)

今ほど大学生についておっしゃいましたが、最近なくなって非常に残念なことがあります。かつて美川・蝶屋・湊それぞれの地区で通学合宿をやっており、多いときで 20 人ほど子どもの参加がありました。地区の婦人会や金城大学生がいつも手伝いに来てください、非常にお世話になっていました。

(参加者)

大学生のお姉さんやお兄さんが子どもたちの面倒をみていたので、やはり大学生の協力なしではできません。夜 10 時ぐらいまで食事に付き合いながら宿題などしていましたが、ボランティアをしてくれる学生が金城大学からいなくなってしまいました。金沢学院大学へも依頼しましたが、ボランティアをする人がいませんでした。各所にご尽力いただきましたが、コロナ禍を機に活動がなくなってしまいました。

(市長)

私が美川中学校勤務だった頃、若い子たちのボランティア団体のスピリッツが通学合宿をしていましたが、皆でいろいろ取り組みをしていたと記憶しています。コロナ禍を境に継続できなくなりましたが、美川の3地区は学校との連携がしっかりとっている印象です。

(参加者)

先日、育成会で運動場の草むしりをやりましたがそれでは足りず、助けがいるということで朝 6 時から 9 時頃まで汗を流しながら必死でやりました。次回は 9 月半ばに予定しています。最近は、赤土の上を走ってはいけないことになっていますが、子どもたちが走る運動場の草の生え方が尋常ではありません。それを順番に少しずつ取っていますが、また 9 月に皆さん総出でお願いしないといけません。

◆ 若い人とのコミュニケーションを大切にして、意見を取り入れながら、地域づくりをしていきたいです

◆ 農業の後継者不足が深刻です

(参加者)

若い人とのコミュニケーションや繋がりについてですが、年に一度、7 月最終日曜に開催しているサマーフェスタという地区的イベントがあります。若い方が役員をしていると、いろいろな話し合いができる場だと思います。

最近若い人が増え、平加町ではベビーブームのように人口が増えました。まちづくり組織が成り立つのには、若い人の思いや意見を吸い上げることが一番大事だと思います。地域住民が自ら立ち上がりしていくことが非常に大事で、そのためには住民がどんな思いをしているのか、例えばアプリコットパークについてどういう希望があるのか、大いにその意見を聞いて反映したほうがいいと思います。

(参加者)

人との繋がりというのは本当に大事だと思います。先ほど市長さんもおっしゃった、大学生あたりの若い世代にイベント等で協力してもらう、または招く、あるいは自分たちから出てきていただぐ形でもいいと思います。

おかげり祭りにしても、神輿の担ぎ手や台車を引っ張る人がいないなどいろいろな話を聞きますので、若い世代に協力してもらい、一緒に参加する形になればと思います。昨年、これまで男性が務めていた青年団団長に女性がなったという話にしても、すごいことだと思っています。

あとは、若い人とうまくいろいろな形でつながって、こちら側に取り込んでいくかですが、なかなか難しいです。言い切っていいかわかりませんが、若い人たちは一般的な仕事に就く傾向で、農業関係は携わってくれる人が少ないのでどうしたらしいのかと思います。昔のようにというわけにはいかなくとも、少しでも自分の持っている土地を何とかしなければいけない思いや、地域として農業等を継続していくというようなことが、若い世代にも伝わればいいのかと思います。どうすればいいか思いつかないのでいろいろなことを考えると頭の痛いところではあります。人口が増えれば一番いいのでしょうか、こればかりは日本全体を見ても減りつつあるので避けようがない現実です。その辺の改善が何かしら必要だとは思いますが難しいです。

(参加者)

農業については、地区を回ってみるとやはり高齢化の影響が非常に大きいです。蝶屋地区は特に農業に関わっている方が多いので、若手育成につなげ、農業を継いでいけるような環境整備を市でも取り組んでいただきたいです。

(参加者)

地域のコミュニティ活動ですが、根本はコミュニケーションだと思っています。現在、取り組み中の話をしますと、先ほど話に挙がりました夏祭りは、今年は盆踊りにダンシングヒーローを取り入れました。若い人も参加できるようにと考えたので、ターゲットは子どもの保護者世代です。この盆踊り大会の最初にこども園の踊りがあるのですが、こども園の踊りが終わった後にダンシングヒーローを入れて、保護者の方が一緒にフィーバーしてくれればと考えたものです。こういうところに来るところの楽しみがあるのだと分かれば、徐々に繋がりもできると思っています。

その次は小学生を取り込むためにどうしようかということで、世代間交流でお年寄りと小学生がゲームを通じて交流する場を作ろうと、11月の文化祭でeスポーツ大会を計画しています。3名1チームで子どもが1人、間に入りながら順番にやり、子どもがおじいちゃん、おばあちゃんに教えてあげるような関係性でやっていこうと考えています。また、そのほかに、真ん中の年代も取り込め

ないかプランニングしているところです。

(市長)

いろいろな工夫がありますね。工夫していくと若い方からも意見が出て、考えも取り入れていけると思います。何でもチャレンジすることが大事です。

(参加者)

今日は市長さんありがとうございます。28地区のミライ会議について、ホームページに掲載して終わりではなく、ある程度結果が出るような形にしていただければと思います。また、この会議の時間が短いように感じますので、可能であればもう少し長く設定していただければと思います。この会が来年度も継続し、地区の声を聞く場を提供いただければと思っております。

先ほどからアプリコットパークの話題が出ていますが、本日は商工会などからの傍聴の方もいらっしゃいます。私も商工会に関わっていますが、何もかも行政に頼るのではなく、民間の力を利用することも含めてやっていかなければと思いますし、そんな中で行政の手助けもできればお願いしたいです。各地区からいろいろな要望が出ると思いますが、皆さんがここでおっしゃったように地域の人が知恵を絞って、地域のものを大事にしていく気持ちは強いと思います。蝶屋にはインターチェンジがあり、美川の玄関口という意識が皆さん強いと思いますので、そういうところも含めてご支援をお願いしたいと思っています。

(市長)

これまでたくさんの地区を回ってきましたが、地区ごとに様々な課題があります。28地区それぞれのコミュニティで考えて工夫されていますが、行政はしっかりと支援していくことが大事だと最近改めて感じています。

本日お話を聞きし、環境面など様々な面でよく考えてやっていただいていることを大変うれしく思いますし、市として支援できることはしっかりと考えてやっていきたいと思います。どうもありがとうございました。